

地球環境保全の推進に関するアピール

地球温暖化をはじめとする気候変動問題は、地球に暮らす我々にとって、決して見過ごせない重要な問題であるが、近年、地球環境は、いわば地球ぐるみヒートアイランド現象というべき事態となっており、もはや「地球温暖化」ではなく「地球高温化」と呼ぶべき状態で、その及ぼす影響は計りしれず、対策は一刻の猶予もできない。

一方、世界を震撼させたアメリカ発の金融危機に伴う世界同時不況も未だ深刻な状況で、その回復の見通しは不透明であり、世界経済の安定に向けた各国の取組みは、共通の最重要政策課題となっている。

こうした状況下、政府は、緊急経済対策の一環として、「スクール・ニューディール」政策などによる太陽光発電の積極導入をはじめ、低燃費車、省エネ家電製品等の普及促進、低炭素交通・物流インフラの革新など、低炭素・循環型社会の構築による「環境と経済の好循環」に向けたさまざまな取組みを進めることとしている。

都市自治体においても、地球環境保全に向けたアクト・ローカリーとして、クリーンエネルギーの導入やバイオマス資源の活用をはじめ、公共交通機関の見直し、エコタウンの構築、さらには環境技術の移転や環境教育の実施など、それぞれが地域の特徴・特性を生かし、市民とともにその取組みを着実に実践しているところである。

そこで、我々は、このような地域の取組みを踏まえ、引き続き、市民、関係機関、企業などと一体となって、持続可能な社会の構築に向けて、地球環境保全対策をより一層推進していくことを決意し、強くアピールするものである。

平成21年6月2日

全国市長会

「環境フォーラム」参加市長一同